

学校法人金沢医科大学 平成18年度決算

学校法人金沢医科大学の平成18年度決算が、去る5月29日(火)開催の第187回理事会及び第98回評議員会において承認されました。その概要及び収支等の状況は次のとおりです。

1. 概要

私学を取り巻く厳しい経営環境が続く中、平成18年度は、看護学部の設置認可申請及び看護学部棟の建設・整備をはじめ、医学部特別奨学金貸与制度の創設、病院第2新館建設及びPET等の高度先進機器の整備、病院機能評価受審及びこれに伴う病院施設の整備などの事業を実施しました。

そのほか、海外交流事業や医学部奨学事業の推進のための積立てや、将来の退職金債務に備えるための資金確保についても予定額の積立てを行いました。

その結果、収入面では、医療収入は前年度より微増の167億円を確保し、補助金や資産運用収入で増収になったこと等により、帰属収入合計は前年度比8億4千万円増の249億円となりました。また支出面では、人件費及び医療経費が増となったこと等により、消費支出合計は前年度を4億3千万円上回る239億3千万円となりましたので、帰属収支差額(正味財産増加額)は9億7千万円の収入超過という結果になりました。

2. 消費収支計算書の状況

【主な収入】

(1) 学生生徒等納付金

医学部学生数の増加等により、前年比4千4百万円増の44億1千2百万円となりました。学生数は、医学部生648名、大学院生57名、看護学校生168名の合計873名です。

(2) 寄付金

寄付金総額は、前年比7千7百万円減の8億5千1百万円となりました。

特別寄付金は、寄附講座への指定寄付金で3千5百万円となりました。

一般寄付金は、18年度医学部入学生からの教育振興資金寄付金が2億8千7百万円、学術振興基金制度によるものが4億8千5百万円の合計7億7千2百万円でした。

現物寄付金は、科学研究費補助金で購入した研究機器の受入れ等で4千4百万円となりました。

(3) 補助金

補助金総額は、前年比2億8千2百万円増の15億2千9百万円となりました。

そのうち、私立大学等経常費補助金は前年比8千7百万円減の9億5千3百万円となりましたが、文部科学省研究装置・設備補助金はPET/CT装置など5件で、前年比3億9千万円増の4億8千3百万円となりました。そのほか臨床研修費補助金5千万円及び地方公共団体ほかからの補助金4千3百万円が交付されました。

(4) 医療収入

医療収入総額は、前年比3千7百万円の増、当初予算比9千6百万円の増となる167億1千3百万円となりました。

入院収入は、入院延患者数が前年比3.6%減少、病床利用率が84.6%と前年比4.2ポイント減少しましたが、7対1看護の実施等により診療単価が前年比5.8%上回ったこと等により、前年比2億6千6百万円増の128億9千3百万円となりました。

一方、外来収入は、診療単価が増えたものの外来延患者数が前年比6.7%減少したこと等により、前年比2億2千9百万円減の38億2千万円となりました。

なお、医療収入の帰属収入に占める割合は67.1%(前年度69.3%)となりました。

【主な費用】

(1) 人件費

教員人件費は前年比6千1百万円増の34億1千2百万円、職員人件費は前年比3千4百万円減の71億2千5百万円、役員報酬は前年度と同額の7千万円、退職給与引当金繰入額及び退職金は前年比1億9百万円増の7億1千7百万円となり、人件費総額では前年比1億3千6百万円増となる113億2千4百万円となりました。また、退職金支出は、定年及び早期退職制度による退職等を含め、156名に8億3千9百万円を支出しました。

なお、人件費の帰属収入に占める割合は45.5%(前年度46.5%)となりました。

(2) 教育研究経費

事業計画に基づく教育研究事業を実施した結果、教育研究経費は13億2千2百万円となりました。

(3) 医療経費

減価償却額を除いた比較では、前年比2億3千万円増の82億1千3百万円となりました。これは、薬品費等が2億8千4百万円減少しましたが、医療材料費で1億3千万円増加したこと及びX線CT装置のリース料等を含むその他の医療経費で3億8千4百万円増加したためです。

なお、医療経費の医療収入に占める割合は49.1%(前年度47.9%)、また、帰属収入に占める割合は33.0%(同33.2%)となりました。

(4) 減価償却額及び処分差額等

減価償却額及び資産処分差額の合計額は、前年比1千万円増の24億6千9百万円となりました。このうち、病院部門の減価償却額及び資産処分差額等は、病院本館、別館及び新館の建物・医療機器等の償却額を含め、前年比4千万円増の16億9千1百万円となりました。

また、医療収入における患者負担未収金について、18年度から徴収不能引当金を設けたことに伴い、徴収不能引当金繰入額3千3百万円を計上しました。

消費収支計算書

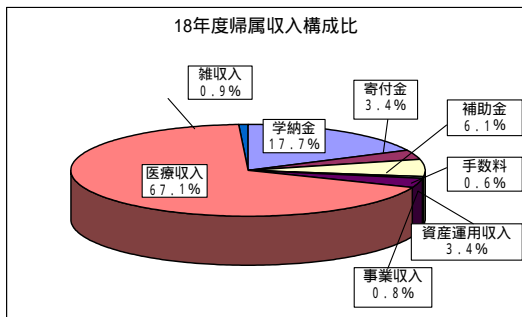
(自)平成18年4月1日

(至)平成19年3月31日

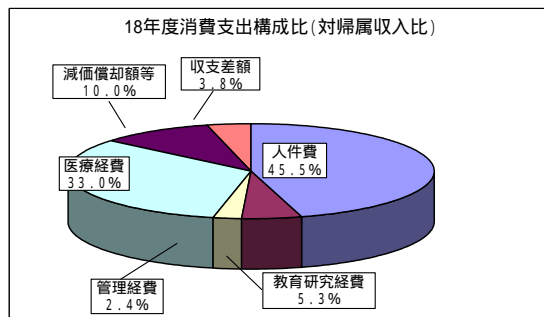
(単位：百万円)

消費収入の部			消費支出の部		
科目	金額	前年比	科目	金額	前年比
学生生徒等納付金	4,412	44	人件費	11,324	136
手数料	157	4	教育研究経費	1,322	76
寄付金	851	77	医療経費	8,213	230
補助金	1,529	282	管理経費	600	129
資産運用収入	842	446	借入金等利息	1	1
事業収入	179	22	減価償却額及び		
医療収入	16,713	37	資産処分差額等	2,469	10
雑収入	216	130			
帰属収入合計	24,899	836	消費支出の部合計	23,929	430
			(正味財産増加額)	(970)	(406)
基本金組入額	2,840	2,250	消費収支差額	1,870	1,844
消費収入の部合計	22,059	1,414	基本金取崩額	540	1

(注) は計算書式上のマイナス表示、 は比較上のマイナスを表示(以下同じ)。
前年比は平成17年度決算との比較です。



帰属収入 24,899 百万円



消費支出 23,929 百万円

3. 資金収支計算書の状況

【主な資金収入・支出】

消費収支計算書で説明した項目については割愛させていただきます。

(1) 借入金等収入

病院建設費支払いに伴う運転資金として銀行から4億円を6ヶ月間借入れしました。また、学校債により4億6千1百万円の資金調達を行いました。

(2) 借入金等返済支出

期中に借入れた短期借入金4億円を返済しました。また、学校債の定期償還及び繰上償還等で、3億4千7百万円の償還を実施しました。

(3) 施設・設備関係支出

施設関係では、病院第二新館建設工事に18億2千4百万円、看護学部棟建設工事に4億1千5百万円、病院本館改修工事に3億9千6百万円、消雪用井戸設置工事に4千7百万円ほかで、合計29億3千4百万円、設備関係では、高精度放射線照射システム(リニアック、5億円)及びPET/CT装置(3億5千2百万円)の整備費計8億5千2百万円(うち、補助金交付額4億2千6百万円)、卓上細胞自動解析分離装置、リアルタイムPCRシステム及び前立腺がん密封小線源治療装置を含む教育研究用機器1億5千万円(うち、補助金交付額5千7百万円)、X線テレビ装置を含む病院医療用機器6億1千3百万円(うち、補助金交付額7百万円)及び図書整備費1千2百万円ほかで、合計16億4千6百万円を支出しました。

(4) 資産運用支出

将来の退職金債務に対する財源を確保するため退職給与引当特定資産に5億円、医学教育海外交流引当特定資産に5千万円、医学部奨学事業引当特定資産に1億円の合計6億5千万円を計画どおり積立てました。

資 金 収 支 計 算 書

(自)平成18年4月1日

(至)平成19年3月31日

(単位：百万円)

収 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	金 額	前年比	科 目	金 額	前年比
学生生徒等納付金収入	4,412	44	人件費支出	11,445	465
手数料収入	157	4	教育研究経費支出	1,321	77
寄付金収入	807	111	医療経費支出	8,213	222
補助金収入	1,529	282	管理経費支出	600	128
資産運用収入	842	446	借入金等利息支出	1	1
資産売却収入	9	4	借入金等返済支出	747	155
事業収入	179	22	施設関係支出	2,934	1,422
医療収入	16,713	37	設備関係支出	1,646	1,029
雑収入	216	130	資産運用支出	650	0
借入金等収入	861	300	その他の支出	2,625	462
前受金収入	4,353	98			
その他の収入	5,757	2,612			
資金収入調整勘定	7,775	662	資金支出調整勘定	2,674	421
前年度繰越支払資金	5,286	140	次年度繰越支払資金	5,838	552
収入の部合計	33,346	3,014	支出の部合計	33,346	3,014

4. 貸借対照表の状況

【主な増減】

(1) 資産の部

資産総額は、前年比14億4千9百万円増の588億9千8百万円となりました。

退職給与引当特定資産は、積立分が増加し51億3千8百万円となりました。これは、退職給与引当金期末残高の70.2%に相当します。

流動資産のうち、現金預金は5億5千2百万円増の58億3千8百万円となりました。

(2) 負債の部

負債総額は、前年比4億7千9百万円増の188億8千7百万円となりました。

退職給与引当金は、取崩しと繰入れを行った結果、前年比1億2千1百万円減の73億2千3百万円となりました。

(3) 正味財産は、前年比9億7千万円増の400億1千1百万円となりました。この結果、資産総額に対する正味財産の割合は67.9%となり、前年度より0.1ポイント減少しました。

なお、情報公開の一環として、平成18年度財務関係書類（財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書及び監査報告書）を本学のホームページ上に掲載しています。
(<http://www.kanazawa-med.ac.jp> 「平成18年度事業報告及び決算について」)

貸借対照表

平成19年3月31日現在

(単位：百万円)

資産の部			負債の部		
科目	金額	前年比	科目	金額	前年比
固定資産	49,367	290	固定負債	11,365	42
土地	3,098	0	長期借入金、学校債	4,042	79
建物、構築物他	24,892	1,444	退職給与引当金	7,323	121
教育研究用機器備品他	5,582	785	流動負債	7,522	521
図書	1,207	11	短期借入金、学校債	220	35
退職給与引当特定資産	5,138	500	未払金	2,661	409
減価償却引当特定資産	8,100	1,100	前受金他	4,641	77
施設拡充引当特定資産	1,000	1,500	負債の部合計	18,887	479
海外交流引当特定資産	150	50	正味財産の部		
奨学事業引当特定資産	200	100	科目	金額	前年比
流動資産	9,531	1,159	基本金	60,955	2,839
現金預金	5,838	552	消費収支差額	20,944	1,869
未収入金	3,471	603	正味財産の部合計	40,011	970
貯蔵品他	222	4	負債の部及び正味財産の部合計	58,898	1,449
資産の部合計	58,898	1,449			

(注) 減価償却額の累計額は27,314百万円です。

退職給与引当金の額は、期末要支給額7,323百万円の100%を計上しています。